

横手市議会定例会
市長所信説明

令和元年9月

横手市

第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が^{ひら}く^{かがや}くまち よこて

基本計画 政策・施策

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 【施策 1-1】子育て支援の充実 | 【施策 1-4】障がい者（児）福祉の充実 |
| 【施策 1-2】健康な心と体づくりの推進 | 【施策 1-5】低所得者福祉の充実 |
| 【施策 1-3】健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】福祉を支える人材の確保と育成 |

政策2 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 【施策 2-1】横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-4】活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 |
| 【施策 2-2】安全で安心して学べる教育環境の整備 | 【施策 2-5】よこての伝統文化の継承と再発見 |
| 【施策 2-3】元気なまちを築く生涯スポーツの促進 | |

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 【施策 3-1】安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】美しい自然環境と快適な生活環境の保全 | 【施策 3-4】循環型社会の一層の推進 |
| | 【施策 3-5】エネルギーの地産地消の推進 |

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 【施策 4-1】魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】観光・物産資源の発掘と発信 |
| 【施策 4-2】活気ある商業の振興 | 【施策 4-5】企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】活力ある工業の振興 | |

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 【施策 5-1】雪国の快適な暮らしの実現 | 【施策 5-5】安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】快適な移動空間の実現 | 【施策 5-6】市民がくつろげる公共空間の整備 |
| 【施策 5-3】市民が利用しやすい公共交通の充実 | |
| 【施策 5-4】地域拠点整備による市街地の活性化 | |

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 【施策 6-1】市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】男女が尊重し合う社会づくり | 【施策 6-4】市内外との交流連携の推進 |

政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
【行政経営】

- | |
|--------------------------------|
| 【施策 7-1】市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 |
| 【施策 7-2】財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 |
| 【施策 7-3】戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 |

目 次

1. はじめに	1
2. 新たな施策等への取り組みについて	3
(1) 企業誘致について	3
(2) 幼児教育・保育の無償化に伴う副食費への全額助成について	4
3. 令和元年度事業等の進捗状況について	5
(1) 普通交付税について	5
(2) プレミアム付商品券事業について	6
(3) マイナンバーカードを活用した自治体ポイントについて	7
(4) 明海大学との連携事業について	8
(5) 横手市産農産品の販路拡大支援について	9
(6) 台湾トップセールスについて	10
(7) 養護老人ホームひらか荘の民営化法人公募結果について	11
(8) 横手北スマートインターチェンジの開通について	12
(9) 横手駅東口第二地区市街地再開発事業について	13
(10) 会計年度任用職員制度の導入準備状況について	14
(11) 雄物川庁舎及び十文字地域多目的総合施設の整備事業について	14
(12) 庁舎等への屋外喫煙場所整備について	15
4. 補正予算について	16
5. おわりに	17
※行政一般報告編	18

令和元年 9 月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

初めに、会計手続き上のミスにより、253 の個人・団体・企業に計 1 億 8, 280 万 6, 373 円を二重に振り込む誤りがありましたことにつきまして、ご迷惑をおかけいたしました債権者の皆様並びに市民の皆様、議会の皆様に深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

当市からの二重振り込みにつきましては、7 月 31 日をもって、すべての債権者の皆様より全額お戻しいただいております。今後は、二度とこのようなことが無いよう確認体制の強化を図り、再発防止に努めてまいります。

さて、今年は天候に恵まれ、水稻をはじめ各農作物は概ね順調な生育を見せております。とりわけ夏の主力産品の一つであるすいかにつきましては、5 月から続いた好天により、糖度が高く歯触りも良い高品質な仕上がりで、消費地の天候不順の影響はあるものの、

順調な出荷であると伺っております。夏の農作物に続きこれから米や果樹の収穫期となりますが、実りの秋につながることを期待しております。

その一方、西日本においては大型の台風１０号により四国・中国地方などを中心に暴風・大雨となり、交通機関などにも大きな影響を及ぼしたところであります。当市におきましては、今月１０日明け方からの豪雨により、住宅の床下浸水、浄水場への落雷による断水等が発生いたしました。あらためまして、被害にあわれました市民の皆様に対し心からお見舞い申し上げます。また、復旧作業及び河川警戒にあたられた消防団はじめ関係者の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、このたびの豪雨や一昨年の大森地域を中心とした豪雨災害を教訓に、常日頃の備えをより一層万全にしていまいります。

このような中、災害に対する備えの一環として、このほど当市と秋田ふるさと農業協同組合との間で、「災害時における一時避難所の提供及び物資の供給等の協力に関する協定」を締結させていただきました。災害時には秋田ふるさと農業協同組合の集出荷所等を一時避難所として活用するほか、食料品や生活物資を迅速にご提供いただけることとなりました。平時においては防災訓練などを通じ連携を深め、有事においては協定に基づき相互に協力しあいな

がら防災減災に努める所存です。

今後も、災害時の迅速かつ的確な対応に向けて総合的な危機管理体制の充実に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2. 新たな施策等への取り組みについて

(1) 企業誘致について

去る7月3日、秋田県と当市は、愛知県稲沢市に本社を置くイイダ産業株式会社と立地協定を締結いたしました。

同社は、オロテックスというブランド名で自動車用防音材や補強材などの工業用ゴム・樹脂製品の開発・設計・製造・販売を手掛ける研究開発型の企業であり、国内全自動車メーカー及び海外大手自動車メーカーとの間で幅広い取引実績がございます。主力の防音材部品の受注が増加傾向にあるため、増産体制を整備する必要性が生じたことから、横手第二工業団地への進出を決定いただきました。同社は、複数の海外拠点を有しておりますが、本社のある稲沢市以外に国内拠点を構えるのは今回が初めてとなります。

進出に伴い、同社は子会社のオロテックス秋田株式会社を設立し、工業団地内の敷地約9千平方メートルに工場を建設、来年7月の操業開始を目指しており、従業員数は操業当初5人、将来的には20

人となる計画と伺っております。

輸送機関連企業が集積している当市の自動車産業に新たに化学系の企業が加わることで、産業の幅が広がるとともに就業の機会が増え、若者が当市に定着し、活躍することが期待されます。

当市といたしましても、同社がスムーズに操業を開始できるよう全力で支援してまいります。

(2) 幼児教育・保育の無償化に伴う副食費への全額助成について

10月より実施される国の幼児教育・保育の無償化制度により、3歳から5歳児の全世帯および0歳から2歳児の住民税非課税世帯につきましては保育料が無料になります。また、3歳から5歳児のうち、年収360万円未満の世帯および第3子以降の子どもの副食費は免除されますが、その一方、その他の世帯については保護者負担となります。

保護者負担となる副食費につきましては、県と市町村が共同で実施する「すこやか子育て支援事業」により、国で定める基準額である4,500円を上限として、世帯の所得状況に応じた一部助成を行い、保護者の皆様の負担軽減を図ることとしております。

しかしながら、副食費の一部助成を行ってもなお保護者負担が残

る世帯が生じるため、市独自の上乘せ助成を行い、副食費についても実質無償化することといたしました。今後も『子育てしやすいまち』のトップランナーとして、子育て支援の充実に取り組んでまいります。

3. 令和元年度事業等の進捗状況について

(1) 普通交付税について

この度、令和元年度の普通交付税が決定され、臨時財政対策債を加えた実質的な普通交付税額は、195億9,274万2千円となり、昨年度の最終的な交付決定額と比較し、額にして7億3,196万1千円の減、率にして前年度比3.6パーセントの減となっております。

このうち、普通交付税につきましては、185億6,644万4千円であり、前年度比3億6,584万2千円の減、率にして1.9パーセントの減となっております。また、臨時財政対策債の発行可能額は10億2,629万8千円であり、前年度比で3億6,611万9千円の減、率にして26.3パーセントの減となっております。

実質的な普通交付税額が前年度よりも大きく減額となった主な要

因でありますが、合併に伴う加算特例の割合が昨年度の 5 割から 3 割に縮小したことによります。

この段階的縮減措置も後半に入り、令和 3 年度には特例措置が終了いたします。当市といたしましては、今後も行政評価の仕組みを活用しつつ、財産経営推進計画や財政計画の進捗管理を適正に行い、持続可能な財政運営に努めてまいります。

(2)プレミアム付商品券事業について

消費税率の 10 パーセントへの引き上げに伴い、家計の負担緩和や地域の消費を下支えすることを目的として、10 月 1 日からプレミアム付商品券事業を実施いたします。

実施にあたり、住民税非課税の方など申請が必要な方々に対し、8 月 9 日以降、順次申請書類を送付し、8 月 16 日から受付を開始しております。申請を受付後、内容を審査し対象となった方、ならびに、平成 28 年 4 月 2 日から本年 9 月 30 日までの間に生まれたお子様がいらっしゃる世帯の世帯主の方あてに、9 月下旬から購入引換券を郵送いたします。

このプレミアム付商品券の販売期間は、10 月 1 日から令和 2 年 2 月 28 日まで、商品券の使用期限は、令和 2 年 3 月 31 日までとしております。また、商品券は、500 円券を 10 枚 1 組とし、4

千円で販売いたします。対象者 1 人当たり 5 組まで分割購入可能となっており、最大 2 万 5 千円の商品券を 2 万円でご購入いただけます。商品券の販売は、月曜日から金曜日の平日に横手商工会議所や、よこて市商工会各支所の市内 8 か所で行うこととしておりますが、販売開始直後で混雑が予想される 10 月中に限り、日曜日もサンサン横手とよこて市商工会本所の 2 か所において販売する予定で準備を進めております。

また、この商品券をご利用いただける店舗は、横手市共通商品券の加盟店となっております。7 月 31 日現在の登録店舗数は 360 店舗、店舗の登録受付は、横手市共通商品券実行委員会にて随時行うこととしております。

事業の実施にあたりましては、商品券がスムーズにお使いいただけるよう、引き続き官民連携して取り組んでまいりますので、対象となられた方につきましては、この機会にご利用くださるようご案内申し上げます。

(3) マイナンバーカードを活用した自治体ポイントについて

国は、マイナンバーカードを活用した消費活性化策として、令和 2 年度に自治体ポイントのプレミアム付与を予定しております。具体的には、マイナンバーカードを所持している方が、専用の ID を

設定し、自治体が発行するポイントを一定の額以上購入すると、プレミアムが上乗せされるものとなっております。自治体ポイントは、地域のお店やオンラインショップでの決済などに利用できる予定です。

上乗せされるプレミアム率も含め、詳細な内容は、現在のところ国が検討を進めている途中ではありますが、当市では、この消費活性化策の波及効果を期待し、今年度、国の補助を活用して自治体ポイントの利用環境を整備していくこととしております。

(4) 明海大学との連携事業について

当市では、千葉県浦安市の明海大学と外国人留学生を対象にしたホームステイ事業で長年にわたり交流を続けており、学園祭に参加し当市のPR活動も展開させていただくなど交流の輪を拡げてまいりました。

こうした中、明海大学では2年前に地域学校教育センターが開設され、地域との連携を深める取り組みを実施しており、本年3月に、その取り組みの一環として、当市との間で包括連携協定を締結しております。

教育や文化、地域の発展など幅広い分野に大学の研究を活用し、協定に基づく事業を開始しており、今年度の事業といたしましては、

来年度から本格実施となる小学校での外国語教育に関して、明海大学の教授を講師としてお招きし、市内の小・中学校の教員を対象にした研修を開催、指導のポイントなどについてご講義いただきました。

また、明海大学の経済学部生による「横手市の地域活性化」に関する研究発表も行われ、学生の視点から、観光客の誘致や、人口減少問題など、地域課題を解決するための活性化プランを提案していただきました。

今後も「留学生が多数在籍している」という明海大学の特性を活かし、更なる地域発展に向け、連携を深めてまいります。

(5)横手市産農産品の販路拡大支援について

去る7月13日、さいたま市の大宮中央青果市場において、秋田ふるさと農業協同組合の代表理事専務とともに横手市産の農産物、特にすいかに重点を置いたトップセールスを行ってまいりました。

市場関係者に横手ファンを増やすことを目指し、全国から野菜や果物等が集まる中、卸・仲卸業者の方々に対し、顔が見えるかたちで、産地の特性や生産者の思いをアピールしてまいりました。今後より一層、横手の農産物を応援いただけるものと期待しております。

さらに同日、直接、消費者に向けたPRのため、新宿小田急百貨

店内の九州屋を訪問し、すいかの販促活動を行ってまいりました。

首都圏でのすいかを中心とした横手市産の農産物と加工品についてのPRフェアは、7月13日から2日間、九州屋5店舗において、さらに8月1日から4日間、スーパーサカガミ2店舗においても集中開催いたしました。両社には、このPRフェア開催前も含め継続的に当市の農産物と加工品を取り扱いいただいております、これまでの活動が実を結んだものと考えているところです。

今後も、秋田ふるさと農業協同組合と連携して、首都圏等の中央卸売市場など、市の農産物を扱う関係者の元に積極的に出向き、販売促進に取り組むとともに、販路拡大を支援してまいります。

(6)台湾トップセールスについて

8月21日から23日までの3日間、秋田県知事並びに当市も含む8市2町の首長等が結集し、台湾でのトップセールスを行ってまいりました。

台湾の航空会社である ^{ファーイースタン} 遠東航空や現地の旅行エージェントを訪問し、観光誘客の推進に欠かせないチャーター便の継続、県内観光地などを旅行商品へ積極的に組み入れていただくよう要請してまいりました。

また、「国際的産学官連携モデル事業」、「関係人口創出・拡大

事業モデル事業」に関連して、大同大學を訪問し、今後も相互交流を図りながら、台湾に横手市関係人口のネットワークを作ることにご協力いただける旨を確認してまいりました。

今後も、こうしたトップセールスによるPR活動が着実に実を結び、海外からの誘客促進に繋がるよう、また、海外においても当市を応援していただける人が増え、観光産業のみならず商業や教育の分野にも波及効果が表れるよう事業を進めてまいります。

(7) 養護老人ホームひらか荘の民営化法人公募結果について

養護老人ホームひらか荘につきましては、令和5年度からの民営化を目指し、7月25日を期限として候補者を募集したところ、2法人からの応募がございました。現在は、書類審査を終え、民営化法人候補者選定委員会で審査いただくための事務を進めております。

選定委員会では、法令等を遵守した事業運営計画となっているか、職員配置が充実しており将来にわたって利用者の皆様へ安定的なサービスが提供できる体制であるか、建設予定地や施設整備計画が適正かどうかなど、複数の判断基準に基づき審査いただきます。

10月中には選定委員会から審査結果について報告をいただき、候補者が決定した際には、12月定例会にてご報告させていただく予定としております。

(8)横手北スマートインターチェンジの開通について

平成26年の連結許可以降、^ネ^ク^ス^コNEXC O東日本と共に整備事業を進めてまいりました横手北スマートインターチェンジにつきましては、8月4日の午前10時から炎天下にもかかわらず約70名の関係者の皆様のご臨席を賜り開通式典を執り行い、その後同日午後3時をもって開通し、一般の皆様にご利用いただいております。

開通後は初日ということもありますが、当日の午後12時までの9時間で約650台の利用があったと伺っており、順調なスタートを切ることができたと考えております。

これまでスマートインターチェンジの整備に向けてご尽力をいただきました皆様方に対しまして、改めて御礼申し上げます。

また、事業用地をご提供くださいました権利者の皆様をはじめ、工事車両等の騒音や振動などによりご迷惑をおかけした地元住民の皆様にも事業へのご協力に対しまして深く感謝申し上げます。

今後は、インターチェンジ周辺地域にお住まいの皆様やお勤めの皆様の利便性向上はもとより、経済や観光などさまざまな分野に波及効果が生まれるものと期待しておりますので、市民の皆様、議員の皆様にも是非ご活用いただきますようお願いいたします。

(9)横手駅東口第二地区市街地再開発事業について

横手駅東口第二地区市街地再開発事業につきましては、5月9日に準備組合が設立されて以降、月2回の頻度で理事会が開催されております。これまでの理事会の中では、事業のスムーズな進行を目的として、一般業務代行者の決定や事業計画策定業務並びに基本設計業務の委託契約などを実施した旨伺っております。

また、再開発事業で設置する公益施設については「図書館もある公益施設」として検討を行っており、これまで「横手駅東口を語る会」や図書館利用者、中高生の皆様を対象としたアンケートなど、市民の皆様よりいただいたご意見を元に公益施設全体の機能の整理を行っております。その中心的な役割を担う図書館は、「知」の拠点であるということを鑑み、複合機能と融合し新たな学びや体験との出会いを創出できる施設を目指しております。

準備組合では、来年2月までに事業計画及び基本設計を作成する予定で作業を進めており、市民の皆様が誇れるような場所、わくわくするような場所となるよう、当市としても準備組合の事業を今後とも積極的に支援してまいります。

(10)会計年度任用職員制度の導入準備状況について

この度、各自治体で異なる臨時・非常勤職員の任用方法、処遇等について、任用根拠の厳格化、給与や休暇等の任用制度の明確化を図るため、地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、令和2年4月から会計年度任用職員制度が導入されることとなりました。これにより、非常勤職員のほとんどの方々は、会計年度任用職員に移行いただくこととなります。

関係条例につきましては、行政運営の重要な担い手となっただく非常勤職員の方々の処遇を決定する案件であり、慎重に検討を重ねたうえで制度の導入を進めてまいりたいと考え、12月定例会において提案することとしております。

この制度の導入により、期末手当が支給できることとなるほか、休暇制度の拡充など非常勤職員の処遇が改善されるため、導入に向けた準備を継続して進めてまいります。

(11)雄物川庁舎及び十文字地域多目的総合施設の整備事業について

昨年度より実施しております雄物川庁舎及び、十文字地域多目的総合施設の建設についてご報告いたします。

雄物川庁舎は、庁舎建設予定地内の建物解体工事が終了し、現在、

造成工事を行っているところです。新庁舎は鉄骨造り平屋建て、床面積1,302.66平方メートルの広さを有し、市民交流の場としてのコミュニティーホール、自家発電室や備蓄保管庫を整備し、近隣施設と連携した地域防災拠点としての機能も兼ね備えております。

また、十文字地域多目的総合施設も、現在、造成工事が行われているところです。施設は鉄骨造り平屋建て、床面積2,266.17平方メートルの広さを有し、行政・生涯学習・健診機関の機能を併せ持ち、そのほか、災害時における避難所などとして活用できる多目的スペースも整備し、雄物川庁舎同様、地域防災拠点としての機能も備えております。

2つの施設ともに令和2年11月の供用開始に向けて整備を進めておりますが、建設予定地周辺には、小学校や図書館などの教育施設、農業・商業施設、福祉施設などが隣接し、人や車の往来が多い所でもあることから、請負事業者や関係機関との連携を強化し、安全管理には特に留意して工事を進めてまいります。

(12)庁舎等への屋外喫煙場所整備について

健康増進法の一部を改正する法律の施行により、7月1日から庁舎等の第1種施設は原則敷地内禁煙としておりますが、同法律に基

づく特定屋外喫煙場所が整備された庁舎につきましては、来訪者等の喫煙が可能となっております。

この度、本庁舎や条里南庁舎、地域局庁舎などの８施設につきまして、屋外喫煙場所を整備することといたしました。設置場所や整備方法等につきましては、健康増進法の趣旨に基づき受動喫煙防止に十分配慮したうえで整備していくこととしておりますので、ご理解下さいますようお願いいたします。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、子どものための教育・保育給付費、減債基金積立金、公共施設等総合管理推進基金積立金などが主な内容となっております。

補正額は、１２億４,２８３万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、５７３億４,１４４万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

- | | | |
|-----------------|-----------|---|
| ◎ 財産経営推進計画実施事業 | １, ３４６万 | 円 |
| ◎ 特定屋外喫煙場所等整備事業 | １, ０５８万６千 | 円 |

- ◎ 子どものための教育・保育給付費 2, 5 9 7 万 4 千円
- ◎ 減債基金積立金 9 億 4, 7 0 5 万 円
- ◎ 公共施設等総合管理推進基金積立金
1 億 8, 9 4 1 万 2 千円

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件 7 件、専決処分の報告案件 4 件、継続費精算報告書の報告案件 1 件、条例の一部改正案件 8 件、その他の案件 2 件、令和元年度一般会計補正予算案など補正議案 6 件、平成 3 0 年度一般会計歳入歳出決算など決算認定 1 2 件の合計 4 0 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 6月議会定例会以降の行事等について ～

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

目 次

(1) 増田の盆おどり.....	20
(2) 全日本元祖たらいこぎ選手権大会.....	20
(3) あやめまつり.....	20
(4) あやめ杯民謡大会.....	21
(5) 雄物川駅伝競走大会.....	21
(6) ははは祭.....	21
(7) 関東地区大森町ふるさと会.....	22
(8) 第50回田楽灯ろうコンクール.....	22
(9) 第47回十文字さくらんぼまつり.....	22
(10) 首都圏十文字会について.....	23
(11) 第41回猩々まつり.....	23
(12) 夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃).....	24
(13) 2019大雄サマーフェスティバル.....	24
(14) ちびっこわくわくフェスティバル.....	24
(15) 園芸振興拠点センターフィールドデー.....	25
(16) 2019横手駅東口まつり.....	25
(17) 第16回よこての全国線香花火大会.....	25
(18) 横手送り盆まつり.....	26
(19) 雄物川郷土資料館 令和元年度第1回特別展.....	26
(20) 後三年合戦金沢資料館 令和元年度第1回特別展示.....	26
(21) 横手地区柴崎遺跡発掘調査現地説明会.....	27
(22) 石坂洋次郎文学記念館企画展「杉葉子さん追悼展」.....	27
(23) 夏休み子ども教室.....	27
(24) 令和元年度 厚木市・横手市小学生交流会.....	28
(25) 成人式.....	28
(26) 市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会について.....	28
(27) 横手わか杉カップについて.....	29
(28) 那珂市横手市スポーツ交流について.....	29

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

	概 要 等
まちづくり推進部 (増田地域局)	(1)増田の盆おどり 8月15日、(一社)増田町観光協会の主催により、中・七日町通り及び本町通りを会場に「増田の盆おどり」が開催されました。 当日はお囃子が町内に鳴り響くと、保育園児から大人まで多くの踊り手が次々と集まり、伝統的な建造物とかがり火のもと、幻想的で優雅な踊りが披露され、観覧者を魅了しました。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(2)全日本元祖たらいこぎ選手権大会 地元の若手商店主が中心となった実行委員会の主催による「第33回全日本元祖たらいこぎ選手権大会」が、8月16日に真人公園の沢口沼で開催されました。 夏の風物詩として定着したこの大会は、県外や他市町村からも含めて127人の選手が参加され、たらいの漕ぎ方を地元選手から習ったり、臨時に出展された物産品を買い求めたりと、競技以外の場での交流も深め、横手市の魅力を堪能していました。
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(3)あやめまつり 第38回浅舞公園あやめまつりが、6月22日から6月30日までの9日間にわたり開催されました。今年は5月以降好天が続いたため、まつりの前半に彩り豊かな花々が咲きそろい、訪れた来場者は園内をゆったりと散策しておりました。 期間中は、地元吉田小学校のスクールバンド演奏や、よさこいソーラン踊りなど様々なイベントの他、JR東日本横手駅の共催によりミニこまちの乗車体験や親子で楽しめるJRブースが設置されました。また、JR東日本秋田支社による日帰りパックツアーへの参加者が、さくらんぼまつりなど市内イベント会場を巡るなか、当園内にも立ち寄り、期間中は多くの来場者で賑わいました。 また、土日限定で販売した「ままけえ弁当」も午前中で完売となるほどの売れ行きで、地元商工業者によるテント村もまつりを大いに盛り上げました。 期間中の来場者数は昨年より多い68,000人で、今年もイベントのボランティアスタッフとして、県立衛生看護学院、平成高校、平鹿中学校の生徒88人にサポートしていただきました。 この他、まつり開催前に来場される方々を気持ちよく迎え入れるため、地元の各団体や地域住民109人の方々により浅舞公園周辺道路のクリーンアップが実施され、環境美化を図るなど、地域との協働の取り組みも行われております。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(4)あやめ杯民謡大会 第29回あやめ杯民謡大会が7月15日、平鹿生涯学習センターを会場に開催されました。 民謡愛好家にとっては新人発掘の登竜門的な場となっている県民謡連盟公認の大会であり、県内外から参加した83名が自慢ののどを競い合いました。 審査の結果、一般の部は横手市の澁谷四郎さん、熟年の部は大仙市の土田金太郎さん、年少の部は岩手県八幡平市の日戸楓乃さんがそれぞれ最優秀賞を受賞しました。 会場を訪れた350人の民謡ファンは、心に響く力強い歌声に聴き入っていました。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(5)雄物川駅伝競走大会 6月30日、雄物川河川公園をメイン会場に、「第48回雄物川駅伝競走大会」を開催いたしました。地域、企業、仲間同士などの24チームと、横手明峰中学校9チームが参加し、5区間全長13.1kmのコースで襷をつなぎました。 今年は地元雄物川の「大沢ランナース」が48分06秒でゴールし優勝いたしました。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(6)ははは祭 平成8年8月8日に、は・は・はの語呂合わせから始まり、笑顔の町雄物川の夏の風物詩として24回目を迎えた「ははは祭」が、8月8日今宿商店街で開催されました。 当日の会場では、ものまねなど多数のアーティストによるライブやよさこいソーラン、雄物川高校吹奏楽部の演奏に加え、ストリートダンスやフリースローコンテストなどが祭りを盛り上げ、約5,500人の人出で賑わいました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大森地域局)	(7) 関東地区大森町ふるさと会 7月28日、上野精養軒にて第36回関東地区大森町ふるさと会総会並びに懇親会が開催され、会員や来賓、関係者約110人が参加し旧交を温めました。 懇親会のアトラクションでは、大森町在住の佐藤敏己さんの相撲甚句や美咲有里さんの歌謡ショー、会員によるカラオケで盛り上がりました。最後に「故郷」の大合唱で締めくくり、次回の再会を誓い合いました。 会場内には、物産販売コーナーが設けられ、『大森産ブドウのワイン』や特産品を買い求める会員で大いに賑わいました。
まちづくり推進部 (大森地域局)	(8) 第50回田楽灯ろうコンクール 7月19日、「第50回田楽灯ろうコンクール」が大町通りで開催され、手作り灯ろうを持った子どもたち約90人が参加いたしました。パレードでは、お囃子や地元中学生が作成した大型灯ろうを先頭に、子どもたちが、色鮮やかな灯ろうの光で町並みを照らしながら練り歩きました。 今年も「おおもり夏祭り」が同時開催され、屋台やゲームコーナー、大道芸人のパフォーマンスで会場を盛り上げ、最後は迫力ある音と光の打上げ花火で締めくくり、参加した多くの市民が幻想的な夏の伝統行事を楽しみました。
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(9) 第47回十文字さくらんぼまつり 「第47回十文字さくらんぼまつり」が6月15日から7月15日まで、十文字地域のさくらんぼ樹園地を会場に開催されました。 春先から天候に恵まれ、おいしいさくらんぼが実り、県内外からまつりに来られた観光客は、たわわに実ったさくらんぼをほおぼり「おいしい」と言いながら、さくらんぼ狩りを楽しんでいました。 また、期間中は「第36回さくらんぼ杯争奪東北将棋大会」、「第24回さくらんぼタネ飛ばし大会」が開催されました。 晴天のなか、「さくらんぼタネ飛ばし大会」に県内外の80の方が参加され、向かい風のなか、参加者それぞれが工夫を凝らしてタネ飛ばしに挑戦し、大変盛り上がった大会となりました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(10)首都圏十文字会について 7月6日、東京都台東区の浅草ビューホテルを会場に第34回首都圏十文字会総会が盛大に開催され、昨年の参加人数を20名程超える186名の方々にご参加いただきました。 今年度は大森町出身の国錦耕次郎氏による相撲甚句や雄物川出身の短大生でシンガーソングライターの高橋のりえ氏によるギターの弾き語りが披露され、会場を盛り上げていただきました。さらにサプライズゲストとして、元ギニア外交官のオスマン・サンコン氏が登場し、会場は大盛況でした。 また、お笑い芸人を目指す若い方など20代の参加者もあり、幅広い年代層の参加が見受けられました。 恒例となっております道の駅十文字による物産コーナーも大変好評で、地元産品を多数買い求める会員で賑わいました。 来年は、開催35回目の記念すべき年となりますので、首都圏十文字会の皆様との連携を一層強化し、ふるさとの情報発信と会員相互の交流・親睦に努めて参ります。
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(11)第41回猩々まつり その昔、旅人の道標として建立され、十文字発展の礎となった猩々様の像にちなんだ「第41回猩々まつり」が、7月20日に十字の里を会場として開催されました。 当日は、「十文字第一小学校スクールバンド部の演奏」を皮切りに、「お笑いコンビ ちえす 爆笑ステージ」、地元の園児による「よさこい演舞」や「猩々桜恋歌よさこい演舞」、「爆笑！感動！バツグンの歌唱力！マーガレットきよし ものまねオンステージ」が披露され、猩々おどりでは大人から子供までご参加いただき、訪れた約3,000人の方々に大いに楽しんでいただきました。 また、去年より露店が増えたことで活気があふれ、麺&お菓子まきや地元産のすいか・メロンの他、今年はきゅうりの試食も行い、十文字らしさを感じるまつりとなりました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (山内地域局)	(12)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃) 8月4日早朝、地域内の国道や県道、幹線道路沿線及び河川にて、地域住民総出による「夏のクリーンアップ」を実施いたしました。 これは、環境美化に対する意識の高揚を図るため、4月の春のクリーンアップに続き実施したものです。 当日は、968人の市民の皆様に参加いただき、可燃ごみ120キログラム、不燃ごみ50キログラムが集められました。 今後も、地域の環境をより良くするための活動を継続してまいります。
まちづくり推進部 (大雄地域局)	(13)2019大雄サマーフェスティバル 今年で33回目となる「大雄サマーフェスティバル」を、7月27日、楽天イーグルススタジアム大雄駐車場等を会場に開催いたしました。 このイベントは、地域活性化のために市町村合併以前から開催されており、商工会青年部を中心とした実行委員会を組織し、運営しているものです。今年は約15,000人の方々にご来場いただきました。 当日は、「たいゆう保育園児の踊り&太鼓披露」を皮切りに、ご当地特産品のポップを利用したゲームや、子供たちに人気の「カブトムシ木登りレース」、毎年恒例のキリンドラフトカーによる「ビアガーデン」などを行ったほか、「みちのくひとり旅」で知られる山本譲二さんのコンサートで会場は大いに盛り上がりました。 フィナーレでは、約800発の迫力満点の花火を打ち上げ、大雄の熱い夏を満喫していただきました。
市民福祉部 (子育て支援課)	(14)ちびっこわくわくフェスティバル 7月6日、平鹿生涯学習センターにおいて、市内の子育てサークル、子育て支援センター等が主体となり、「ちびっこわくわくフェスティバル」を開催いたしました。 当日は452人の親子が来場し、アンパンマンと一緒にサンサン体操を踊ったり、ペットボトルや紙コップを使った工作などを楽しみました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
農林部 （よこて農業創生 大学事業推進 室）	（15）園芸振興拠点センターフィールドデー 8月3日、横手市園芸振興拠点センターにて、フィールドデーを開催いたしました。 フィールドデーは、今年4月に開所した拠点センターのPRと、市民の皆様へ地場産野菜の魅力を発信することを目的としており、自動運転トラクターやドローンの実演などスマート農業の紹介、農業研修生による研修成果発表のほか、6次産業化支援施設を利用した親子加工体験教室、横手産野菜を使った料理の試食などを行いました。 当日は、延べ400人の市民の皆様にご来場いただき、園芸振興拠点センターや横手の食と農について理解を深めていただきました。
商工観光部 （観光おもてなし 課）	（16）2019横手駅東口まつり 新元号「令和」を記念するとともに横手駅東口周辺の賑わいづくりのきっかけとすべく、7月7日、横手駅東口にて「2019横手駅東口まつり」が開催されました。 主催は横手市、JR東日本秋田支社横手駅、横手商工会議所、（一社）横手市観光推進機構で、当日は各地域の郷土芸能の披露、特産品の販売、飲食ブースのほか、ミニこまちの乗車体験、竿灯の披露など豊富なメニューにより、5,300人の来場をいただきました。 地域の皆様をはじめ広く観光客までも巻き込んでコミュニケーションの場を創出することができました。
商工観光部 （観光おもてなし 課）	（17）第16回よこての全国線香花火大会 7月20日、国産花火を楽しみながら、故郷を思う気持ちを育て、夏の貴重な文化を体験してもらおうと横手川蛇の崎川原にて「第16回よこての全国線香花火大会」が開催されました。 主催は15団体からなる実行委員会で、当日は好天の影響もあり、小中高生や親子連れを中心に7,500の方が会場を訪れ、情緒ある線香花火や大迫力のおもちゃ花火の打ち上げを楽しみました。 なお、当日や事前の準備など約190人の高校生等にボランティアスタッフとして汗を流していただきました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
商工観光部 （観光おもてなし課）	（18）横手送り盆まつり お盆の伝統行事、横手地域の「送り盆まつり」が、8月6日の「ねむり流し」を皮切りに、15日には「市民盆踊り大会と屋形舟鑑賞会」、16日には「屋形舟繰出し」が開催されました。 8月6日のねむり流しには21団体が参加し、子どもたちは元気に横手囃子を披露しました。15日の市民盆踊りと屋形舟鑑賞会では、約1,000人の市民が屋形舟の周りを太鼓や笛のお囃子にあわせ優雅に踊りました。16日の屋形舟繰出しには、13町内の舟が参加いたしました。
教育総務部 （文化財保護課）	（19）雄物川郷土資料館 令和元年度第1回特別展 『衣装展～祝いの装い～』 4月27日～6月23日の期間で雄物川郷土資料館第1回特別展として『衣装展～祝いの装い～』を開催いたしました。 結婚・出産・誕生の「祝い」をテーマとし、白無垢・打掛・振袖・かんざし・祝い御膳などを展示いたしました。 また、期間中2回にわたり雄物川民家苑木戸五郎兵衛村を会場に『お茶と着付け無料体験』も開催し、お茶の作法や着付けを学ぶ機会の提供も行いました。期間中は、1,141人の方々にご来館いただきました。
教育総務部 （文化財保護課）	（20）後三年合戦金沢資料館 令和元年度第1回特別展示 『兼廣と煤溪～横手の幕末を生きた刀工と画家～』 4月20日～6月16日の期間で後三年合戦金沢資料館第1回特別展示として『兼廣と煤溪～横手の幕末を生きた刀工と画家～』を開催いたしました。 江戸から明治への文化や価値観の激変のなかで、横手城下にて刀を作り続けた兼廣、日本画を描き続けた煤溪の二人の作品を展示いたしました。 両者の凛とした気概を感じていただきました。期間中は、1,087人の方々にご来館いただきました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (文化財保護課)	(21)横手地区柴崎遺跡発掘調査現地説明会 7月27日に、県営ほ場整備事業に伴う緊急発掘調査を実施した柴崎遺跡において、現地説明会を行いました。遺跡の主体は平安時代前期(9世紀後半)で、建物や倉庫を構成する1,000もの柱穴をはじめ、建物を囲う区画溝・土坑・井戸が確認されました。縄文・中世・近世以降の土器も出土していることから、長期間にわたり集落として利用されていたことがわかりました。70名程の見学者は、説明を興味深く聞いておりました。
教育総務部 (生涯学習課)	(22)石坂洋次郎文学記念館企画展「杉葉子さん追悼展」 5月30日から7月15日まで、石坂洋次郎文学記念館において、1949年公開「青い山脈」のパネル写真等を展示し、追悼展を開催いたしました。 石坂洋次郎原作映画に数多く出演され、「青い山脈」でヒロインの女学生役でデビューし、一躍脚光を浴びた女優の杉 葉子さんが、5月15日にご逝去されたことを受け、開催したもので、在りし日の杉 葉子さんに想いを馳せた期間中の来場者は390名となりました。
教育総務部 (生涯学習課)	(23)夏休み子ども教室 小学校夏季休業中の10日間、地域全体で子どもたちを育むことを目的に、市内16カ所で夏休み子ども教室を開設し403名の小学生が参加いたしました。 これは、地域住民や地元企業などの協力を得て、子どもたちに学習や体験活動の場を提供するもので、今年も各教室でコーディネーターや教育活動推進員、学習支援員その他、体験活動の講師として地域の方にも参加していただきました。 各教室では地域資源を活用した様々な活動が行われ、参加した子どもたちは学校や家庭では体験できない貴重な時間を過ごしました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (生涯学習課)	(24)令和元年度 厚木市・横手市小学生交流会 8月9日から11日までの3日間、神奈川県厚木市に横手市内の小学生30名が訪問し、厚木市の小学生との交流を深めました。 この友好都市小学生交流事業は、昭和62年から行われており、今回が34回目の開催で、両市を隔年で小学生が訪問し、体験活動を通じて交流を深める事業となっております。 短い期間ではありましたが、厚木市の小学生24名とのキャンプファイヤーや江ノ島でのグループ活動等を通じ、多くの友情を育んでいました。参加した小学生は、普段の生活では体験できない経験を通じ、より一層たくましくなったように感じました。
教育総務部 (生涯学習課)	(25)成人式 8月15日、横手市民会館において横手市成人式を開催いたしました。 今回の対象者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方889名です。 式典では、代表者が力強く新成人宣言を述べ、実行委員が企画したアトラクションも行われました。参加者は、旧友との再会を喜びながら、近況を報告し合っていました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(26)市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会について 6月19日、スポーツを通じて市民の健康増進と親睦を図ることを目的に、市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会が赤坂総合公園で開催されました。横手市スポーツ推進委員会が運営主体となり実施したもので、当日は約181名の参加者が、グラウンド・ゴルフのプレーを通じて、プレーヤー相互の交流と親睦を深めました。

令和元年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (スポーツ振興課)	(27)横手わか杉カップについて 今年で12回目となる「横手わか杉カップ」が7月13日から15日までの3日間、雄物川体育館で開催されました。全国の高校男子バレーボール界を牽引する強豪校8校が参加し、ハイレベルな熱い戦いが繰り広げられました。 今年は、広島県の崇徳高等学校が優勝し、地元雄物川高校は第4位となりました。3日間で延べ約2,000人の観客が訪れ、市民及びバレーボールファンに多くの感動を与えました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(28)那珂市横手市スポーツ交流について 7月27日から28日の2日間、那珂市と横手市のスポーツ少年団及びその関係者が、スポーツを通じて交流と親睦を深めるため、野球教室と野球の交流試合が行われました。今年は横手市側が那珂市を訪問し、両市の子供たちによるスポーツを通じた笑顔の交流が見られました。